

# 無印良品

## バーチ材／ウォールナット 電波ウォールクロック

### 取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

付属品	
単3形アルカリ乾電池 2個	
壁掛け用ねじ	1個
取扱説明書(本書)	1部

**保証書付**

保証書	
製品名 バーチ材／ウォールナット 電波ウォールクロック	販売店印
お買上年月日	
お客様 お名前	
お客様 ご住所	
TEL	
上記項目が未記入の場合は無効です。〔保証期間〕お買い上げ日より1年以内	
<b>■保証について</b>	
通常のお取り扱いで万一機械故障が生じた場合、保証期間中に下記までこの保証書を添えてお申し出されれば無償にて修理・調整いたします。	
ただし、つぎの場合は保証期間中でも有償修理になりますのでご了承ください。 (ご使用の際はこの取扱説明書を必ずお読みください。)	
1) 誤ったご使用による故障、またはお取扱いの不注意による故障	
2) 不適当な修理や改造による故障	
3) 火災または天災による故障	
4) ご使用中に生じる外観上の変化(本体、ガラスの傷など)	
5) 本保証書のご提示がない場合(電池は保証の対象外です。)	
また修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。	
●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。	
株式会社 良品計画 〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4-26-3 お客様室 ☎ 0120-14-6404 平日 10:00~21:00、土・日・夜 10:00~18:00	輸入元 リズム時計工業株式会社 お客様相談室 ☎ 0120-557-005 (9:00~17:00 土日、夜日および年始年末、夏季休暇を除く)

取扱説明書番号 Z103-ZGXZ(Y1204)

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した警告・注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### 図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず実行していただくことを示しています。

**⚠ 警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

**ⓘ 必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**⊘ 禁止** 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない。

**⊘ 禁止** 電池からもれた液に触れない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様室にご相談ください。

**⚠ 注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

**ⓘ 必ず守る** 電池の⊕⊖を逆向きに入れない  
液もれや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

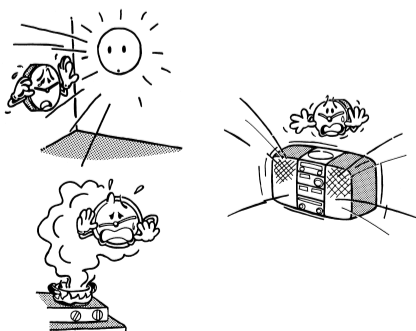
**⊘ 禁止** 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

**⊘ 禁止** 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびの発生や故障の原因になります。

**⊘ 分解禁止** 分解したり改造しない  
けがや故障の原因になります。

**⊘ 禁止** 下記のような場所では使わない  
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。(プール、温泉場など)
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- 木枠の時計の場合、非常に乾燥した状態や多湿な状態が長く続くと木枠が傷むことがあります。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接接触させておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。



## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。  
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(<http://jjy.nict.go.jp>)

### 標準電波の送信停止について

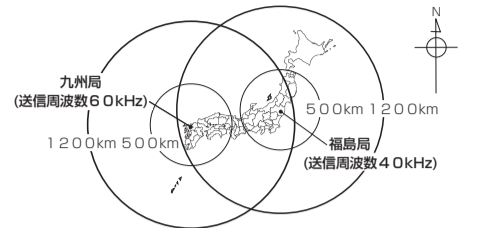
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

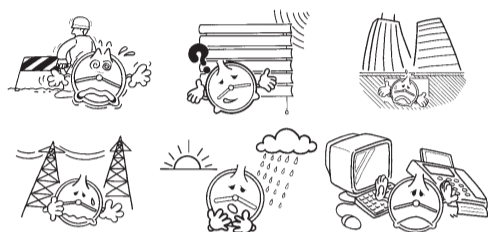


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

### 電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓐ アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例、Panasonic オキシライド乾電池)

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要になることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きを電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

## 電池、時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 時計と電池を分別して廃棄してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁が汚れることがありますので定期的に掃除をしてください。

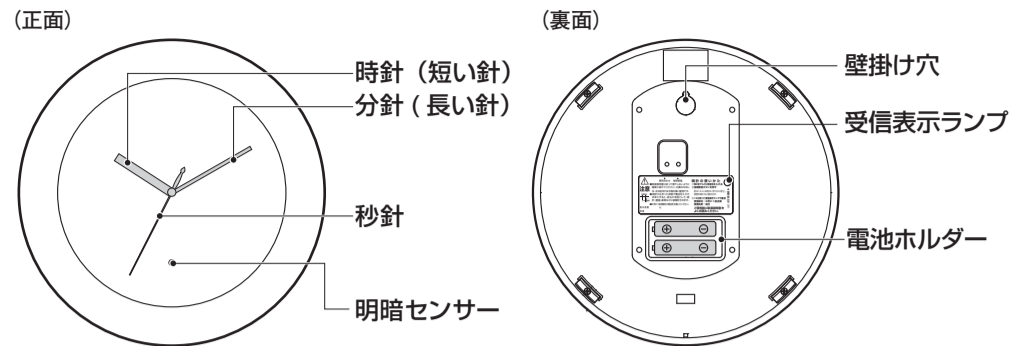
## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと	電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	受信局	福島局 40kHz / 九州局 60kHz 自動選択
	秒針 ±1秒	サーチ機能	受信局、電波強弱受信を表示
	時分針 目盛りに対して±3度	自動受信回数	1日に最少1回、最多6回
	標準電波を受信しない場合	受信ON/OFF	ボタン操作でON/OFF切り替え
	平均月差 ±20秒 (常温中のクォーツ精度)	自動受信開始時刻	
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個	受信状態により、受信回数は変化します。	
電池寿命	約2年	受信開始時刻	
	標準電波の受信に成功して、		2時16分20秒 3時16分20秒
	秒針が1日当たり8時間暗所で停止した場合		4時16分20秒 12時16分20秒
暗所秒針停止機能	明暗センサーに連動して12時位置に停止		13時16分20秒 14時16分20秒
	受信表示ランプ消灯		*2時16分20秒は必ず受信を行います。
電池交換時期お知らせ機能	秒針が常時12時位置に停止	手動時刻合わせ	ボタン操作

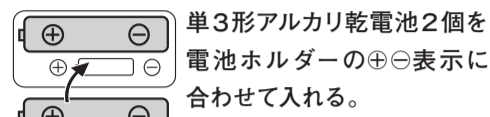
■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

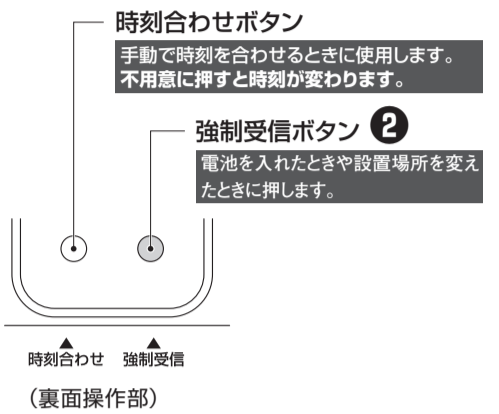
図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



### 〈電池の入れかた〉①



針の動き……通常の時刻表示  
時計・分針 : 10秒に1回動きます。  
秒針 : 連続して動きます。  
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。  
※秒針は、時刻を修正するときに早送りしません。



## 明暗センサーのはたらき (暗所秒針停止機能)

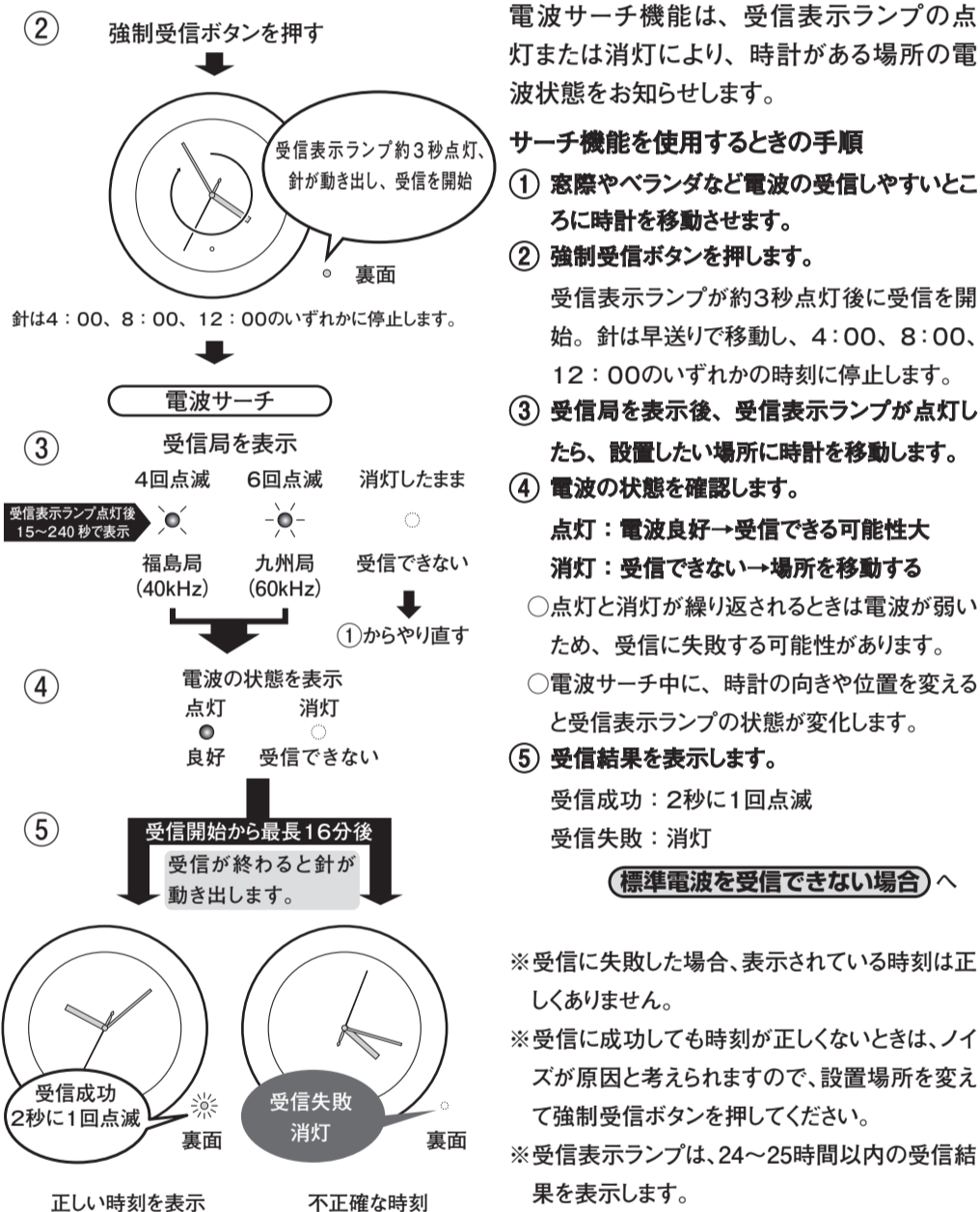
明暗センサーが暗いと判別した場合

- ▶受信表示ランプの消灯
- ▶秒針を12時位置で停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

十分に明るいうちで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要であることを表しています。④電池の交換時期お知らせ機能参照。

## 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

### ■手動での時刻合わせ

- 時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
- ※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
  - ※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
- ③電波受信機能のON/OFF操作参照。
- 時刻合わせボタンを押すと、時計・分針が動き始めます。
- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
  - 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。
  - 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。
- 秒針の動きについて
- 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
  - 秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、標準電波を受信できない場合の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- ① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる  
電池の⊕⊖を逆に入ると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ② 強制受信ボタンを押す 標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた参照  
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。また、針が早送りで、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。  
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。  
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。  
※受信中はボタンの操作をしないでください。
- ③ 時計の掛けかたに従い、時計を確実に掛けてください。
- ④ 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する  
受信が終わると針が動き出します。  
受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探るか、標準電波を受信できない場合を参照してください。

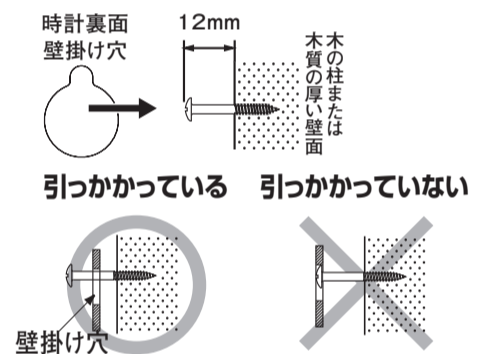
## 時計の掛けかた

⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

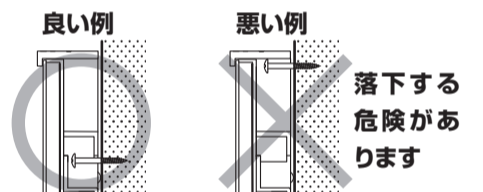
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

⚠注意 壁掛け部以外に掛けない



## ④電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。このような状態になったときは、速やかに新品の電池にすべて交換してください。※強制受信ボタンを押して受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るいところでも秒針が停止します。

### ◆電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

⚠注意 電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

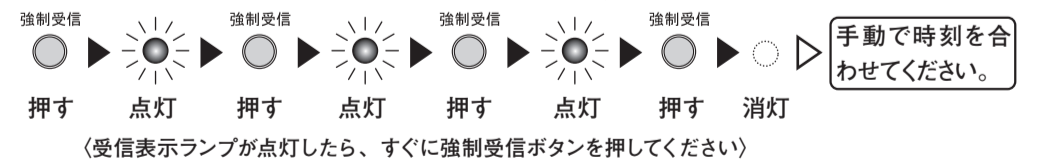


## ③電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

### ■電波受信機能をOFFにするには (停止するには)

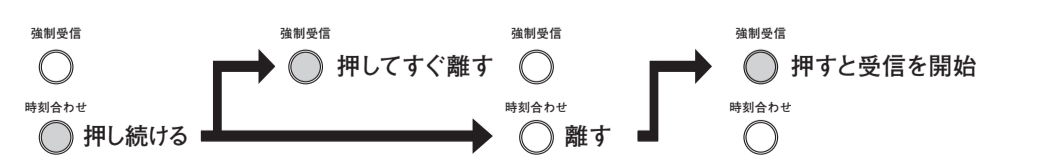
図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

### ■電波受信機能をONにするには (開始するには)

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。OFFの状態からONにするには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始してください。



### ご注意

- ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
- ※電池を取り出しても長い時間設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。